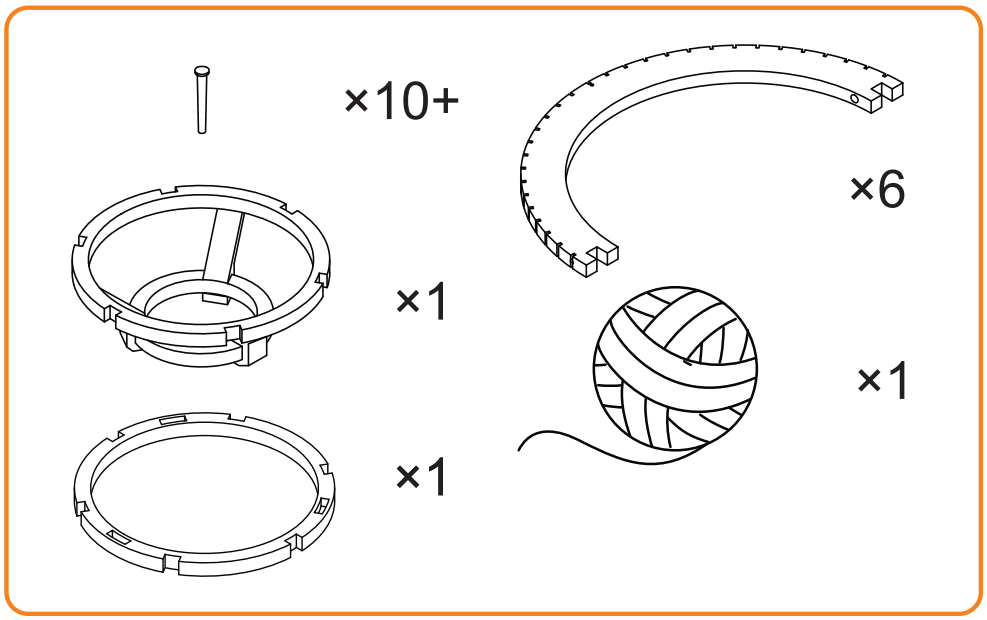
Clockwork Shade

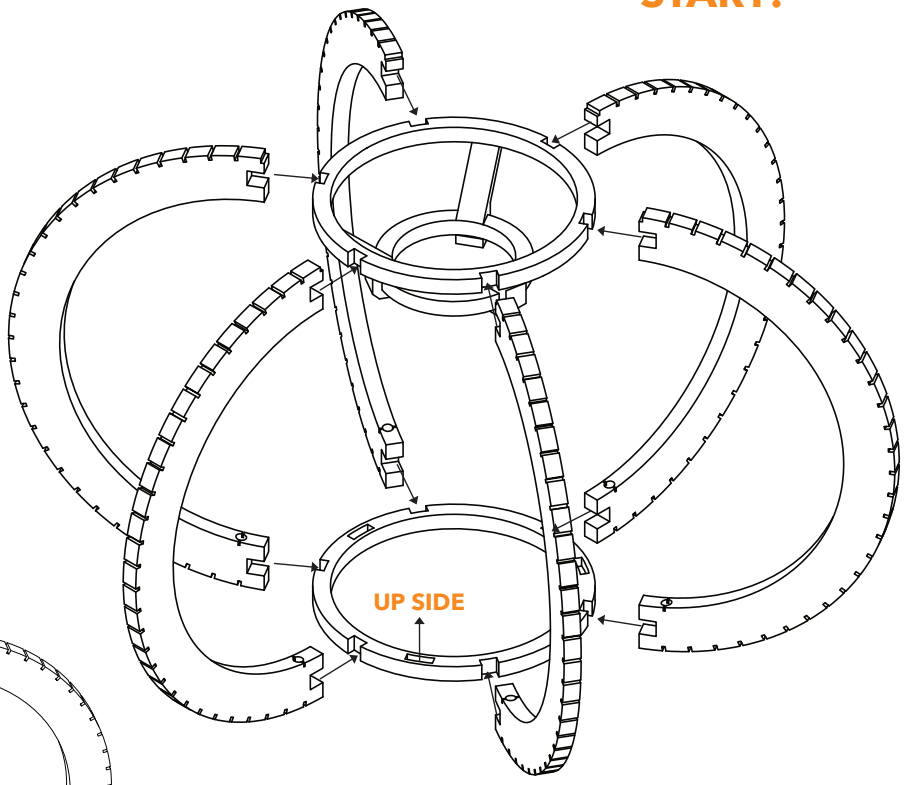


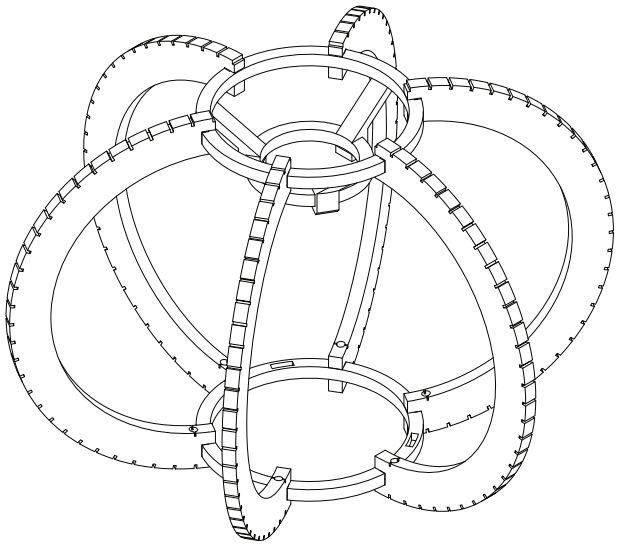
全ての部品が揃っているかご確認ください。まずはフレームの組み立てから始めます。下の図の通りに組み立ててください。

万一、部品に組み立てができないなどの不良がありましたら裏面の弊社メールアドレスまでご連絡ください。インスタグラム、HPのコンタクトページからでもお問い合わせいただけます。

各部品は接着剤なしで組み立てることができますが、より強度を保ちたいという方はプラスチック用の瞬間接着剤を用いて各パーツどうしを接着しても問題ありません。その場合は組み立てた後に部品同士が組み合っている隙間に接着剤を流し込むような形で接着することをお勧めします。接着すると分解することができなくなり、ペンダントライト用のアタッチメントと組み替える事ができなくなります。あらかじめご了承ください。

START!

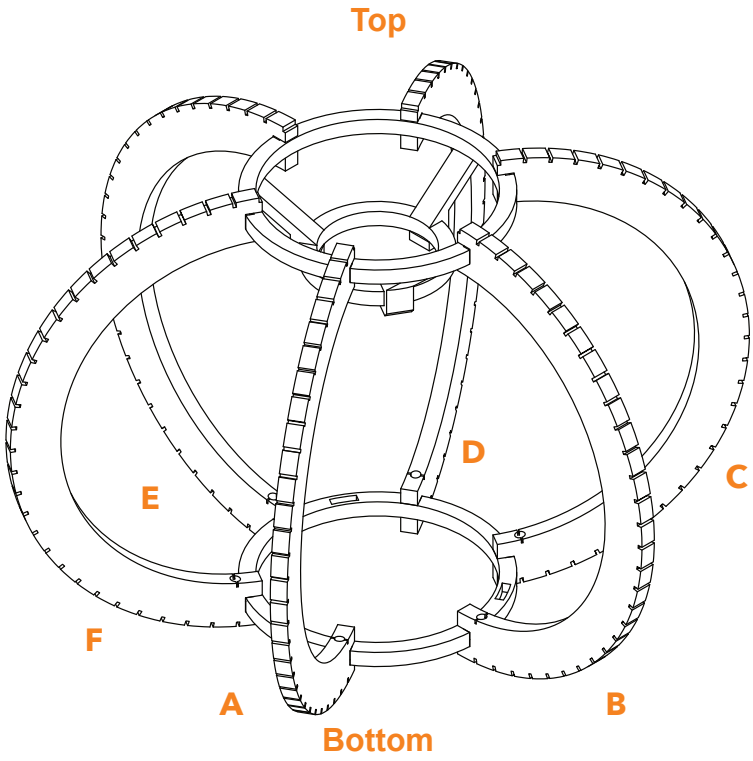


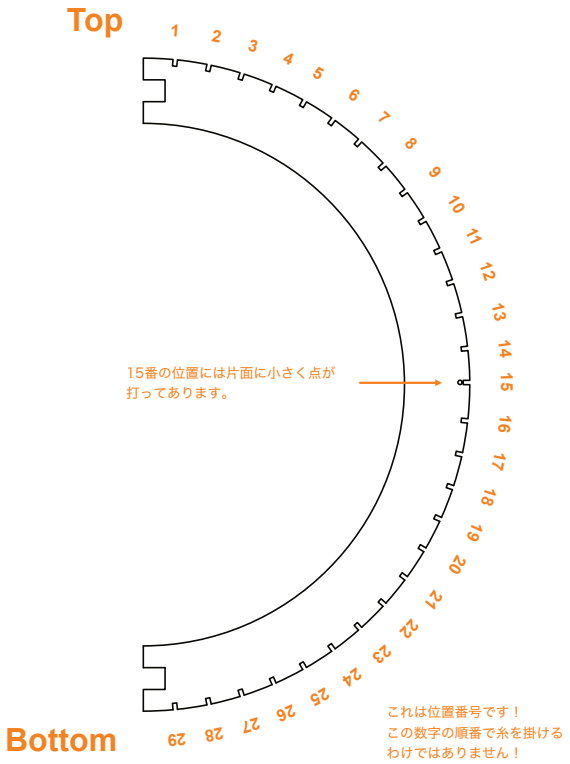


Finish!

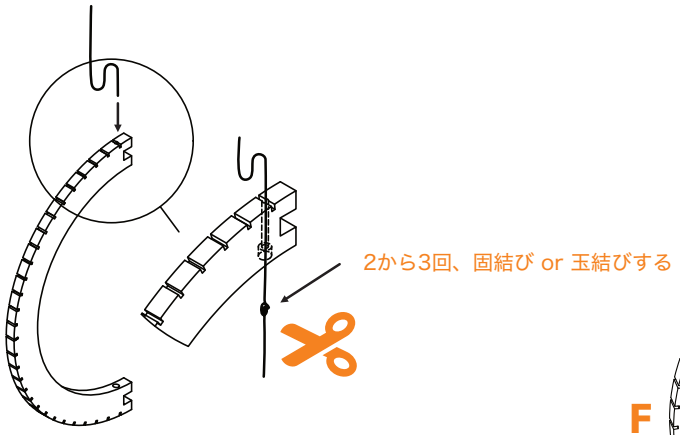
編み方

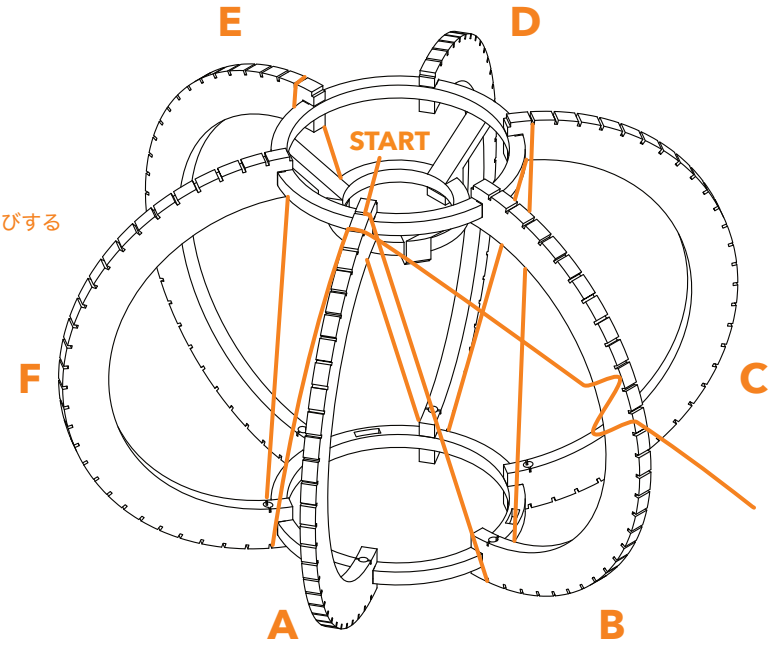
位置番号図





編み始め



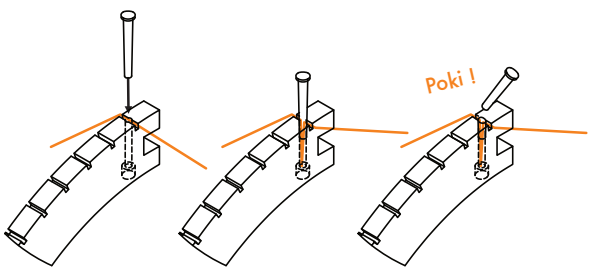


まず初めにスタートの位置を決めます。任意の場所のTop側の穴に上から糸を差し込みます。差し込めたら糸の先端を２〜３回固結びして、結んだ方と反対側の糸を引き穴から糸が抜けないか確認してください。抜けないことが確認できたら、余分な糸を切り落とします。これで編み始める準備が完了しました。

任意のスタート位置をAとして上の「位置番号図」と別添付の「糸掛け順表」を参考に順番通り糸を掛けていきます。例えばパターン１を参考にします。スタート位置がA-1とすると次はB-29の位置に糸をかけ、その次はC-1といったようにtopとbottomを行き来するような手順になります。F-29 の後はA-2 に引っ掛け、その次はB-28といったように、1周した後は前に糸をかけた場所の隣に糸をかけ、同じ場所に糸引っ掛けないように進めていきます。糸を掛けていく際は常に糸を張った状態で掛けるようにしてください。強く糸を張る必要はありません。ほどほどの力で、糸が弛まないように作業を進めて下さい。

失敗しても大丈夫です！何度でも巻き直すことができます！焦らず、ゆっくり楽しんで糸を繋いでいってください！そして糸の掛け方は無限大、新たな発見を目指して掛け順を考えるのも良し、自分好みの糸でオリジナリティーを出すも良し、みなさんのイマジネーションで素敵な照明に仕上げていってください！

編み終わり糸の処理



最後の溝に糸が来たら、付属しているピンを一本用意し、途中で折れないように気をつけながら、糸と共にピンを穴に押し込みます。(糸を穴に通してからピンを押し込んでも問題ありません。) ピンはある程度入り込み糸が抜けなければ問題ありません。飛び出たピンは折り取ってください。最後に余分な糸を切り落とし完成です。